



追加の製品詳細はQRコードをスキャンしてください

キーボード機能:

- 1 Esc
- 2 画面の明るさを下げる
- 3 画面の明るさを上げる
- 4 マルチタスクウンドウ
- 5 検索
- 6 オンスクリーンキーボード
- 7 スクリーンショット
- 8 前のトラック
- 9 再生/一時停止
- 10 次のトラック
- 11 音量ミュート
- 12 音量を下げる
- 13 音量を上げる
- 14 iPadをロック
- 15 言語を切り替える



iPadの取り付け準備:

iPadとRuggedキーボードからすべての梱包材を取り外します。

この段階で試算管理票やIDラベルなどをiPadの裏側に貼り付けます。

iPadの取り付け:

1. **重要!** iPadケースからUSB-Cコネクタを外して、iPadの取り付けを妨げないようにしてください。
2. iPadを挿入する前にUSB-Cケーブルがケース内側の溝にしっかりと収まっていることを確かめてください。
3. iPadの右下の角からケースに差し込み、iPadの下側をしっかりとケースにはめ込んでください。
4. 続いてiPadの上側をケースにはめ込みます。4つの角がしっかりとiPadを保持していることを確かめてください。
5. iPadが正しく取り付けられたら、USB-Cコネクタをケースの開口部に挿入して、コネクタの位置を確かめながらiPadのUSB-Cポートに接続してください。
6. 5. キーボードの接続が完了すると、iPadのディスプレイの右上隅にUSB接続のシンボルが表示されます。





追加の製品詳細はQRコードをスキャンしてください

互換性:

iPad 10th 10.9インチ 2022 (A2696/A2757/A2777)

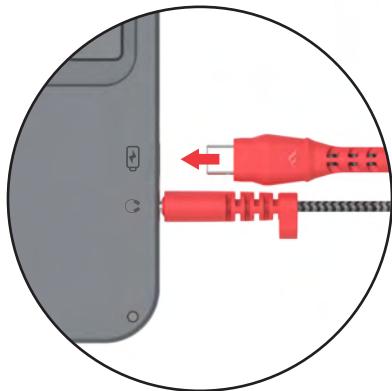


iPad の取り外し:

- 重要!** USB-CコネクタをiPadとケースから取り外します。コネクタが完全に抜かれていないと、iPadやUSB-Cケーブルを損傷する可能性があります。
- 左上の角から右上に向かってケースを後ろに押し込むようにしてiPadから外します。
- iPadの下側の角も同じように外します。
- 全ての角が外れるとiPadは簡単に取り外せます。

iPadの充電:

- USB-C充電ケーブル(別売)を電源に差し込みます。
- もう一方のUSB-Cコネクタをキーボード右側のUSB-Cポートに差し込みます。
- 充電レベルはiPadの画面で確認できます。



安全注意事項:

クリーナーをケースやキーボードに直接スプレーしないでください。 - 洗浄液を布にスプレーして拭きます。マイクロファイバーコロスは水だけで効果的に使用できますが、漂白剤を含まない非毒性または化学クリーナーも使用できます。ケースが完全に乾くまで保管しないでください。

- キーボードを鋭利なものから遠ざけてください。
- キーボードの上に重いものを置かないでください。
- 電子レンジ製品から遠ざけてください。
- キーボードに力を入れたり、変形させたりしないでください。
- 油、化学薬品、その他の液体を近づけないでください。

分解しないでください - 訓練を受けた技術者によるサービスが必要な場合は、カスタマー サポート チームにお問い合わせください: info@brenthavenhq.com

製品仕様:

動作電圧	5V	キーの数	78キー
動作電流	≤45mA	充電ポート	USB-C 2.0
動作時間	タブレットの電力使用時間に基づく	動作温度	-10°C - 55°C
ボタン寿命	500万回のタップ	キープレス圧	50g-70g
スリープ電流	≤3.5mA		

この装置はFCC規則の第15条に準拠しています。
動作は以下の2つの条件に従います。

(1)この装置が有害な干渉を引き起こさないこと
(2)この装置が受け取る干渉は、望ましくない動作を引き起こす可能性がある場合でも受け入れなければならないこと。コンプライアンスを担当する当事者によって明示的に承認されていない変更や修正は、機器を操作するためのユーザーの権限を無効にする可能性があります。

注: この装置はテストされており、FCC規則のパート15に従ってクラスBデジタル装置の制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅インストールで有害な干渉から合理的な保護を提供するように設計されています。この装置は無線周波エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、指示に従ってインストールおよび使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定のインストールで干渉が発生しないことを保証するものではありません。



この装置がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合、装置の電源を切ってから再度オンにすることで干渉が発生するかどうかを確認できます。干渉が発生した場合は、以下の対策のいずれかを試みてください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、場所を変更する
- 装置と受信機の間の距離を増やす
- 装置を別の回路のコンセントに接続する
- ディーラーまたは経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する

この装置は一般的なRF露出声明を満たすように評価されています。この装置は、制限なしに携帯型露出条件で使用できます。

警告: このユニットに対する変更や修正は、コンプライアンスを担当する当事者によって明示的に承認されていない場合、機器を操作するためのユーザーの権限を無効にする可能性があります。